

設楽ダムの建設中止を求める会

第40号 2015年11月10日

<http://www.nodam.org/>

立ち木トラスト運動6周年記念事業を開催します。

6周年を迎えた立ち木トラスト運動の記念事業として、1部/地質問題の報告会(11月22日(日)午後1:30~4:00、豊川市桜ヶ丘ミュージアム)、2部/立ち木トラスト山見学と木札付け作業、そして松戸集落を歩く(11月29日(日)10:30~17:00)(日程等詳しくは別紙を参照ください)を開催します。

1部の報告会は、地質地盤問題の最新情報を報告いたします。ダム建設予定地の地質については、これまでにその問題性については記者発表などとして訴えてきましたが、今回新たな問題があることが分かりました。国土研の調査が再び行われるようです。この問題はこれからのダム建設中止運動の柱の一つになると考えられます。

2部では、立木トラスト山の見学と移転が完了した水没地の様子も現地の方の案内で見学します。

集落ごと消える川向、八橋、大名倉など約120戸が水没することになっています。津波が襲った後のように家の基礎だけが残った風景などをマイクロバスで見まわります。

木札付け作業の実践や、また今回は立ち木トラスト山の山主さんとの交流、懇談を行います。立木トラスト運動の実情が「よく分かる1日」になると思います。

設楽ダム建設中止の運動をさらに広く深く知ってもらうことを目的として企画しました。会員以外の方の参加も歓迎です。お誘いあってご参加いただきますようご案内申し上げます。



伊賀市の水事情を考えるシンポジウム「伊賀の水とおつきあい 未来のための選択」が三十一日、翌日の11月1日は現地見学会と水源連総会が伊賀市阿保の青山福祉センターで開催されました。当会から市野代表と事務局奥宮が参加しました。シンポジウムには約230人が参加。地域住民の問題意識の高さが伝わる熱気のある質疑応答が行われました。前滋賀県知事の嘉田由紀子さん、京都大学名誉教授の今本博健さん、水源連開発問題全国連絡会共同代表の嶋津暉之さんが話されました。

三重県川上ダム現地で水源連総会が開かれました。

10月31日~11月1日 当会から2名参加。



水源連では今回の総会で特に目指したいこととして「全国の闘いを共有しあう」ことに位置付けています。当別ダム、徳山ダムなど必要性のない事業を推進したことの行く末を見据えて、同じ誤りを繰り返さないための知恵を出しあいました。

詳しくは水源連ホームページ suigenren.jp をご覧ください。



「導水路は要らない！愛知の会」から

9月17日 徳山ダム「導水路」中止裁判・「控訴審」の判決が言渡されました。

名古屋高裁は地裁の「不当判決」を踏襲し控訴を棄却！しました。

判決は、(徳山ダム完成後、一滴の水も使われなくても何ら支障なき)「導水路」事業について、原告住民が明らかにした事実から目を背けた「不当判決」そのものでした。

裁判所の判決は、被告・愛知県知事らにとって「不都合な事実」(愛知用水地域の水需要は目標年の2015年になっても基準年の2000年を下回っており、「徳山ダム供給水は不要」であること。)を無視し、「木曾川水系は全国的に見ても渇水の頻度が高く、流域の給水人口は増加傾向」との考え方を示し、「長期的に安定した給水の必要から、安全性を考慮して余裕を持った想定需要を設けることは許容される」とし、原告が求める公金支出差し止めを認めませんでした。

9月30日、「上告」し、廃止を求めて今後とも粘り強く活動を推進する決意表明が小林共同代表から行われました。詳しくはURL：<http://www.dousuiro-aichi.org/>をご覧ください。

「控訴審「不当判決」抗議・最高裁「上告」決起集会」が開かれます。

- とき 12/5(土) 14時~16時30分
- ところ 東別院会館2階・椿
- ミニ講演 在間 正史・「導水路裁判」弁護団長
- 記念講演 今本 博健・京都大学名誉教授

当会も連帯し支援していきたくと思います。参加を！

上記問合せ先：ムダにムダを重ねる徳山ダム「導水路」はいらない！

事務局 加藤 伸久 方 TEL/FAX 052-811-8069

当会の会員らも原告となっている石木ダム反対派提訴へ

長崎県と佐世保市が川棚町に計画している石木ダム建設事業で、反対派の弁護団は5日、国を相手取り、事業認定の取り消しを求める行政訴訟を30日に長崎地裁へ起こす予定を明らかにした。

事業は2013年9月に国土交通省が認定。反対住民ら約160人は翌10月、同省に認定取り消しを求めて行政不服審査請求を行い、審査が続いている。

しかし、県による土地収用の手続きが始まったことから、提訴に踏み切る方針を決めたという。

(読売新聞長崎版 2015年11月06日より)

編集後記

東三河・西三河・浜松を中心に地域の風物を取り上げてこられたコミュニティ&ライフスタイルマガジン「fratto」(☎0532-65-3015)が2015年秋冬号で終刊となります。大変残念です。

frattoさんはこれまでも設楽ダム問題については記事に取り上げていただいております。終刊にあたり「どうしても伝えたいこと。」という特集を組まれておりますが、そのなかで設楽ダム建設計画を「これだけは伝えたいテーマ」の一つとして筆頭に取り上げてくださり、旧田口駅舎付近の美しい写真とともに「二度と踏み込めない場所になる」と記しています。ここで伝えたいことは何か…

「まだ終われない戦い」として当会が紹介されています。

はい！私たちの運動は、ダム建設が中止されるまで終わりません。(0)



設楽ダムの建設中止を求める会：<http://www.nodam.org/>

代表 市野和夫 ichinok7@mx3.tees.ne.jp

事務局 奥宮芳子 〒440-0069 豊橋市御園町1-3 0532-54-7305 okumiya@xj.commufa.jp